科目ナンバリング	U-LAS07 10006 SJ31						
授業科目名<英訳>	日本語・日本文化研究論文作成演習Ⅰ Independent Research in Japanese Language and Culture I			担当者所属職名・氏名	国際高等教育院 講師 河内 彩香 国際高等教育院 准教授 湯川 志貴子 国際高等教育院 教授 河合 淳子 国際高等教育院 教授 パリハワダナ ルチラ		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	日本理解			使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	金2	配当学年	1回生	対象学生	留学生

[授業の概要・目的]

日本語・日本文化に関わる研究テーマについて、一年間の研修期間を通して探究し、修了研究論文としてまとめ上げる。
本授業では、日本をテーマにした論文を作成するために必要な資料の収集や扱い方を紹介し、論文作成の方法を個別に指導していく。

[到達目標]

各自のテーマに沿って文献調査やフィールドワークなどを行い、論文構想発表会を行うこと

[授業計画と内容]

第I期（10月～2月）は、全員に対してテーマの見つけ方、論文の書き方などの指導を行なう一方で、個別に面談しながらどのような興味を持っているかを話し合い、資料収集や調査方法など研究の進め方について指導していく。テーマが明確になった学生から、実際の論文指導に入る。第I期の終了時期に、論文構想発表会を行なう。
発表会および課題の提出に関する日程の詳細は、各学期のはじめに指示する。
第I期の始めに、各学生のテーマを基にクラス分けを行う。クラス分け決定後のクラス変更は認められていない。
本授業は14回の授業（12回の演習及び中間発表会、最終発表会）と1回のフィードバックを対面で行う形で実施する。

[履修要件]

日本語・日本文化研修生専用科目として開講する。

[成績評価の方法・観点]

以下の通りに評価する。
　報告・授業活動への参加度合：60%
　論文構想発表：40%
なお、演習科目であるため出席・参加態度を重視する。

[教科書]

必要に応じてプリントを配付する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

日本語・日本文化研究論文作成演習Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

日本語・日本文化研究論文作成演習Ⅰ(2)

[授業外学修（予習・復習）等]

各学生には論文作成スケジュールに沿って、選定した研究テーマに関わる文献調査や実態調査、分析、考察などを行うことが求められる。各週その進捗状況を報告し、論文作成を段階的に進めていく。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]